

# 平成28年度総括版

## 自転車利用実態定点調査報告

平成29年5月

(一財)日本自転車普及協会

**調査目的** 自転車は車道左側走行が原則であるが、高校生を対象に実際の自転車の走行状況の実態を調査し、その状況の問題点を探り一般に公開することで、望ましい走行空間の再考資料としていただくことを目的に行う。

**調査日時** 平成28年10月～平成29年1月(毎月中旬～下旬の任意の1日)  
[午前]8:00～8:50(一部校7:30～)

**調査場所** ・都立高校(共学/9校)  
**概要** ・調査対象(高校生の自転車通学実態/2710名)

**調査事項** 走行空間調査(車道、歩道)と危険走行調査

自転車利用実態定点調査票				
記入欄	走行空間	車道	歩道	周辺環境
1				
2				
3				
4				
5				
6				
7				
8				
9				
10				
11				
12				
13				
14				
15				
16				
17				
18				
19				
20				
21				
22				
23				
24				
25				
26				
27				
28				
29				
30				
31				
32				
33				
34				
35				
36				
37				
38				
39				
40				
41				
42				
43				
44				
45				
46				
47				
48				
49				
50				
51				
52				
53				
54				
55				
56				
57				
58				
59				
60				
61				
62				
63				
64				
65				
66				
67				
68				
69				
70				
71				
72				
73				
74				
75				
76				
77				
78				
79				
80				
81				
82				
83				
84				
85				
86				
87				
88				
89				
90				
91				
92				
93				
94				
95				
96				
97				
98				
99				
100				
101				
102				
103				
104				
105				
106				
107				
108				
109				
110				
111				
112				
113				
114				
115				
116				
117				
118				
119				
120				
121				
122				
123				
124				
125				
126				
127				
128				
129				
130				
131				
132				
133				
134				
135				
136				
137				
138				
139				
140				
141				
142				
143				
144				
145				
146				
147				
148				
149				
150				
151				
152				
153				
154				
155				
156				
157				
158				
159				
160				
161				
162				
163				
164				
165				
166				
167				
168				
169				
170				
171				
172				
173				
174				
175				
176				
177				
178				
179				
180				
181				
182				
183				
184				
185				
186				
187				
188				
189				
190				
191				
192				
193				
194				
195				
196				
197				
198				
199				
200				
201				
202				
203				
204				
205				
206				
207				
208				
209				
210				
211				
212				
213				
214				
215				
216				
217				
218				
219				
220				
221				
222				
223				
224				
225				
226				
227				
228				
229				
230				
231				
232				
233				
234				
235				
236				
237				
238				
239				
240				
241				
242				
243				
244				
245				
246				
247				
248				
249				
250				
251				
252				
253				
254				
255				
256				
257				
258				
259				
260				
261				
262				
263				
264				
265				
266				
267				
268				
269				
270				
271				
272				
273				
274				
275				
276				
277				
278				
279				
280				
281				
282				
283				
284				
285				
286				
287				
288				
289				
290				
291				
292				
293				
294				
295				
296				
297				
298				
299				
300				
301				
302				
303				
304				
305				
306				
307				
308				
309				
310				
311				
312				
313				
314				
315				
316				
317				
318				
319				
320				
321				
322				
323				
324				
325				
326				
327				
328				
329				
330				
331				
332				
333				
334				
335				
336				
337				
338				
339				
340				
341				
342				
343				
344				
345				
346				
347				
348				
349				
350				
351				
352				
353				
354				
355				
356				
357				
358				
359				
360				
361				
362				
363				
364				
365				
366				
367				
368				
369				
370				
371				
372				
373				
374				
375				
376				
377				
378				
379				
380				

## [総括]

平成 28 年度の総括として、以下の項目について、報告します。

◎走行空間においては、(平成 28 年 10 月～平成 29 年 1 月分の 4 ヶ月間(9 校)の平均値)歩道走行率が、32%であり、車道左側走行率は、28%の結果であった。

また、車道中央走行率は 14%で、車道右側走行率及び路側帶走行率は 13%であった。

◎危険運転行為(違反行為を含む) の総数は、1593 件で、内訳別は、車道中央走行(364 件)・車道右側走行(362 件)・並列運転(272 件)・片手運転(230 件)・立ち漕ぎ(199 件)・ハンドルに荷物(57 件)・カバン背負い(55 件)・過積載(30 件)・ギター背負い(21 件)・肩に荷物(13 件)・イヤホン使用運転(8 件)の順となっている。

なお、車道中央走行・車道右側走行の上位 2 項目で、全体の約 5 割を占めている。  
(事故防止等の観点から、やめるべきである。)

また、並列運転・片手運転・立ち漕ぎの項目も多く、3 項目の合計で全体の 4 割強を占めている。

(危険防止や転倒等の観点から、やめるべきである。)

さらに、上記の 5 項目合計で、全体の 9 割を占有するという事態となっている。

本調査は、高校生の自転車通学の実態を調査したものであり、一般の人と比較して高校生が自転車のルール・マナーを遵守して利用しているかの判断基準となりうるものである。

結果、高校生も、歩道通行が多いが、平均 3 割弱(最大は、7 割)の生徒が車道左側走行をしていた。

一般の人も、2 割程度なので、ほぼ同様の結果である。

原因として、高校が、幹線道路に面していたり、交通量も多いこと等が考慮される。

車道を避けて歩道を通行せざるを得ない状況となり、安全策として歩道を通行していくと思慮される。

自転車通学の割合は、8 割～4 割と多岐にわたり、平均すると、6 割弱である。

各校での駐輪場状況は、最大総収容台数 650 台～最小総収容台数 300 台となっている。

なお、一部校の生徒は、校門直前での左右や後方確認をしていた。

また、登校時間(平均 8 時 30 分)直前 5 分前には、多数の生徒が校門を目指す状況(一部校を除く)であった。

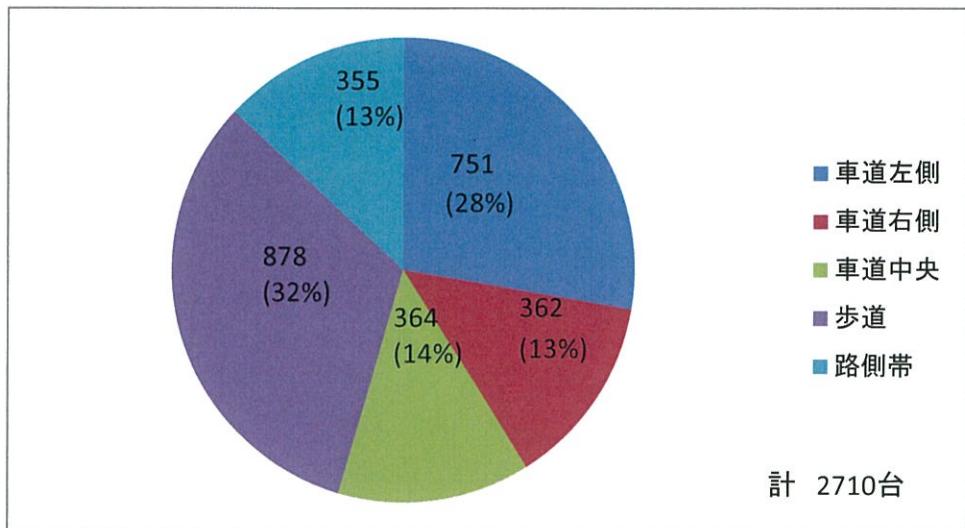
自転車同士の接触や転倒を避けるため、時間に余裕を持っての通学が望ましい。

各校での自転車通学の条件は、特になく、車種制限についても、行われていないため、スポーツ車や小径車等で通学している生徒もいた。

教諭による自転車通学の指導は、一部校を除き、特に行われていないため、マナーアップのため、積極的な指導が切望される。

因みに、各校での交通安全啓発は、警察による交通安全指導や自転車安全教室の開催等である。





調査期間 平成28年10月～平成29年1月

